



平成24年8月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年1月13日

上場取引所 東大

上場会社名 ヤマト インターナショナル株式会社
コード番号 8127 URL <http://www.yamatointr.co.jp>

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 盤若 智基
問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画室長 (氏名) 高橋 俊輔

TEL 03-5493-5629

四半期報告書提出予定日 平成24年1月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年8月期第1四半期の連結業績(平成23年9月1日～平成23年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年8月期第1四半期	5,949	4.1	512	△14.7	514	△14.2	218	△23.2
23年8月期第1四半期	5,717	—	600	—	599	—	284	—

(注) 包括利益 24年8月期第1四半期 264百万円 (△14.9%) 23年8月期第1四半期 311百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年8月期第1四半期	10.25	—
23年8月期第1四半期	13.35	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年8月期第1四半期	30,241	20,843	68.9
23年8月期	28,604	20,748	72.5

(参考) 自己資本 24年8月期第1四半期 20,843百万円 23年8月期 20,748百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年8月期	—	8.00	—	8.00	16.00
24年8月期	—	—	—	—	—
24年8月期(予想)	—	9.00	—	9.00	18.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年8月期の連結業績予想(平成23年9月1日～平成24年8月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	12,900	8.2	1,210	20.1	1,220	20.3	680	30.9	31.91
通期	24,500	8.6	2,000	51.1	2,010	47.1	1,100	58.6	51.61

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
 新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年8月期1Q	22,502,936 株	23年8月期	22,502,936 株
② 期末自己株式数	24年8月期1Q	1,190,503 株	23年8月期	1,190,503 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年8月期1Q	21,312,433 株	23年8月期1Q	21,313,420 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の実績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注記事項等については、(添付資料)2ページ「1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報 (3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(6) 重要な後発事象	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響による生産活動や個人消費の落ち込みが徐々に和らぎ、全体として緩やかに回復しつつありましたが、欧米の金融不安を背景にした円高の長期化等により景気の先行きは依然不透明な状況となりました。

当業界におきましても、天候不順による冬物衣料の販売不振や、不安定な景気情勢に伴う消費者の生活防衛意識は依然として強く、厳しい商況が続いております。

このような経営環境の中、当社グループでは、「時代に合った顧客が求めるカジュアルスタイルの提案」を基本方針として、「真の顧客起点」と「真の小売業化」を念頭に、既存ビジネスモデルの成長と店舗運営力の強化に注力してまいりました。また、「ローコスト経営」を意識し、収益性とキャッシュ・フローを重視し、業務及び物流システムの効率化や生産拠点の積極的な見直しを図る等、「高収益ビジネスモデルへの再挑戦」を推進してまいりました。

販売面では、「クロコダイルメンズ」「クロコダイルレディス」を統括する「クロコダイル事業部門」を新設し、当社の最大の基幹ブランドである「クロコダイル」の更なる事業拡大を目指し、またその他の基幹ブランド「エーグル」「スイッチモーション」を中心とする既存ビジネスの安定成長と「ペイジェジェ」等の育成ブランドの強化も図り、一方、重点事業であるインターネット・モバイル事業の更なる充実にも努めてまいりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における連結業績は、売上高は59億4千9百万円（前年同期比4.1%増）と増加いたしました。利益面では原材料費高騰等による製造原価の上昇や天候不順による定価販売の売上減少等の影響により、売上総利益率は52.6%と1.8ポイント低下し、営業利益は5億1千2百万円（前年同期比14.7%減）、経常利益は5億1千4百万円（前年同期比14.2%減）、四半期純利益は2億1千8百万円（前年同期比23.2%減）となりました。

セグメントごとの売上高では、繊維製品製造販売業58億8千8百万円（前年同期比4.3%増）、不動産賃貸事業6千万円（前年同期比12.4%減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①流動資産

当第1四半期連結会計期間末における流動資産の残高は154億4千5百万円となり、前連結会計年度末と比べ15億9千6百万円増加いたしました。主な要因につきましては、商品及び製品が17億6百万円増加したことによるものであります。現金及び預金と有価証券を合わせた手元流動性資金は90億1百万円から12億6千2百万円減少し77億3千8百万円となりました。受取手形及び売掛金の残高は9億3千6百万円増加し、30億4千8百万円となりました。

②固定資産

当第1四半期連結会計期間末における固定資産の残高は147億9千5百万円となり、前連結会計年度末と比べ4千万円増加いたしました。主な要因につきましては、有形固定資産が3千2百万円減少し、投資有価証券が2億1千6百万円増加し、差入保証金が1億3千1百万円減少したこと等によるものであります。

③流動負債

当第1四半期連結会計期間末における流動負債の残高は77億5千万円となり、前連結会計年度末と比べ16億6百万円増加いたしました。主な要因につきましては、支払手形及び買掛金が16億5千万円増加したことによるものであります。

④固定負債

当第1四半期連結会計期間末における固定負債の残高は16億4千7百万円となり、前連結会計年度末と比べ6千3百万円減少いたしました。主な要因につきましては、長期借入金金が4千2百万円減少したことによるものであります。

⑤純資産

当第1四半期連結会計期間末における純資産の残高は208億4千3百万円となり、前連結会計年度末と比べ9千4百万円増加いたしました。主な要因につきましては、利益剰余金が4千7百万円増加し、その他有価証券評価差額金が2千3百万円増加し、為替換算調整勘定が1千3百万円増加したことによるものであります。これらの結果、自己資本比率は前連結会計年度末の72.5%から3.6ポイント低下し、68.9%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間の業績は、増収減益となりましたが、本年で50周年を迎える当社最大の基幹ブランド「クロコダイル」の積極的な広告宣伝及び販売促進による更なる事業拡大をはじめ、その他基幹ブランドと育成ブランドの成長促進により販売強化を図ってまいりますので、平成23年10月14日発表の業績予想の修正はありません。

上記の業績予想に関しましては、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

< 追加情報 >

当第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月4日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日）を適用しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年8月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,781,827	3,821,853
受取手形及び売掛金	2,111,912	3,048,650
有価証券	5,219,360	3,916,684
商品及び製品	2,280,972	3,987,536
仕掛品	62,934	76,062
原材料及び貯蔵品	30,490	59,569
繰延税金資産	192,844	228,926
その他	169,566	306,784
貸倒引当金	△218	△312
流動資産合計	13,849,691	15,445,755
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,748,054	2,714,823
機械装置及び運搬具（純額）	34,396	34,610
土地	7,931,184	7,931,184
リース資産（純額）	12,199	11,160
建設仮勘定	2,097	2,475
その他（純額）	71,067	72,708
有形固定資産合計	10,799,001	10,766,963
無形固定資産	143,765	138,457
投資その他の資産		
投資有価証券	1,799,030	2,015,231
差入保証金	1,465,752	1,333,772
繰延税金資産	336,354	315,661
その他	253,749	268,102
貸倒引当金	△42,537	△42,583
投資その他の資産合計	3,812,349	3,890,184
固定資産合計	14,755,115	14,795,604
資産合計	28,604,807	30,241,360

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年8月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年11月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,057,055	5,707,876
1年内返済予定の長期借入金	591,320	583,320
未払法人税等	402,679	208,905
賞与引当金	117,809	—
返品調整引当金	32,000	46,000
ポイント引当金	101,232	103,676
資産除去債務	—	7,899
その他	842,526	1,093,001
流動負債合計	6,144,623	7,750,679
固定負債		
長期借入金	800,030	757,200
退職給付引当金	517,776	514,369
資産除去債務	138,894	133,493
その他	254,501	242,285
固定負債合計	1,711,202	1,647,348
負債合計	7,855,825	9,398,028
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,917,652	4,917,652
資本剰余金	5,644,906	5,644,906
利益剰余金	10,929,012	10,976,922
自己株式	△652,510	△652,510
株主資本合計	20,839,060	20,886,971
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△59,040	△35,852
繰延ヘッジ損益	△21,081	△11,252
為替換算調整勘定	△9,957	3,466
その他の包括利益累計額合計	△90,079	△43,638
純資産合計	20,748,981	20,843,332
負債純資産合計	28,604,807	30,241,360

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成22年9月1日 至 平成22年11月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年9月1日 至 平成23年11月30日)
売上高	5,717,995	5,949,620
売上原価	2,588,878	2,804,301
売上総利益	3,129,117	3,145,319
返品調整引当金戻入額	39,000	32,000
返品調整引当金繰入額	58,000	46,000
差引売上総利益	3,110,117	3,131,319
販売費及び一般管理費	2,509,673	2,618,991
営業利益	600,443	512,327
営業外収益		
受取利息	5,071	5,771
受取配当金	1,635	1,610
その他	7,134	7,798
営業外収益合計	13,842	15,180
営業外費用		
支払利息	6,923	6,435
賃借契約解約損	—	4,770
為替差損	7,880	1,766
その他	211	213
営業外費用合計	15,016	13,186
経常利益	599,269	514,322
特別利益		
固定資産売却益	825	—
特別利益合計	825	—
特別損失		
固定資産除却損	2,416	1,597
投資有価証券評価損	—	127,223
減損損失	1,022	8,114
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	82,452	—
特別損失合計	85,892	136,935
税金等調整前四半期純利益	514,201	377,387
法人税、住民税及び事業税	309,524	200,528
法人税等調整額	△79,862	△41,550
法人税等合計	229,662	158,977
少数株主損益調整前四半期純利益	284,539	218,409
少数株主利益	—	—
四半期純利益	284,539	218,409

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年9月1日 至平成22年11月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年9月1日 至平成23年11月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	284,539	218,409
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	35,009	23,188
繰延ヘッジ損益	16,497	9,829
為替換算調整勘定	△24,660	13,423
その他の包括利益合計	26,845	46,440
四半期包括利益	311,385	264,850
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	311,385	264,850
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成22年9月1日至平成22年11月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント			調整額 (千円) (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (千円) (注)2
	繊維製品製造 販売業 (千円)	不動産賃貸事 業 (千円)	計 (千円)		
売上高					
(1) 外部顧客への売上高	5,648,541	69,454	5,717,995	—	5,717,995
(2) セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—
計	5,648,541	69,454	5,717,995	—	5,717,995
セグメント利益	746,874	31,979	778,853	△178,410	600,443

(注)1 セグメント利益の調整額△178,410千円は、各報告セグメントに配分していない当社の総務・経理部門等の管理部門に係る費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成23年9月1日至平成23年11月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント			調整額 (千円) (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (千円) (注)2
	繊維製品製造 販売業 (千円)	不動産賃貸事 業 (千円)	計 (千円)		
売上高					
(1) 外部顧客への売上高	5,888,756	60,863	5,949,620	—	5,949,620
(2) セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—
計	5,888,756	60,863	5,949,620	—	5,949,620
セグメント利益	663,935	25,070	689,006	△176,678	512,327

(注)1 セグメント利益の調整額△176,678千円は、各報告セグメントに配分していない当社の総務・経理部門等の管理部門に係る費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) 重要な後発事象

該当事項はありません。